

# 『たんぽぽ組にもどうぞのいすほしい』 4歳児 1月伏見こども園

## エピソード

たんぽぽ組の子ども達は『どうぞのいす』の絵本をもとにお話遊びをしています。Aちゃんが「たんぽぽ組にもどうぞのいすがほしい」と話したことから、どうぞのいすをつくることになりました。「どうぞのいすってどんないすかな?」と保育者が問いかけると「木でできてる」「食べ物を置くいす」「うさぎさんがつくったから絵本ではしっぽがついてた」と絵本の内容を思い出しました。Bくんが「しっぽ、後ろだから見えない。うさぎさんがつくったから長い耳をつけたらいいんじゃないかな」と言いました。その言葉がきっかけとなり、「絵の具で色もつけたい」「うさぎさんだから真っ白にしよう」「かわいいリボンもつけたい」などと、それぞれがどんな風につくりたいか思ったことを話し出しました。「真っ白にしたらかわいいかも」「リボンは何色がいいかな」「先生、段ボールがほしい」「絵の具で色ぬりたい」と必要な物を考えたり、友達と一緒に話しながらかつくりしました。

## 子どもの育ちや学び

たんぽぽ組にも  
どうぞのいすほしい

どうぞのいすって  
やさしいすだね

長い耳つけよう

真っ白のいすかわいい

段ボールがほしい

私、こっちぬるよ



絵本の内容に興味をもつ  
自分たちのどうぞのいすがほしい  
【興味・意欲】

自分の思いを伝える  
友達の考えを受け入れる  
【伝える・受け入れる・イメージの共有】

必要な物を考え準備する  
友達と一緒につくる  
【思考・行動・協力】

## 保育者の思い

- ・お話に興味をもち、自分たちのどうぞのいすをつくりたいという気持ちを受け止めたいと思いました。
- ・自分の感じた事を言葉で伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら話し合っている様子を見守りたいと思いました。
- ・自分たちで必要な物を考えたり、友達と協力してつくりたい、時間や場を確保したいと思いました。

## お家の方へ

自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを受け入れたる中で、どうぞのいすのイメージが子ども達に共有されました。友達同士で話し合うことで自分たちがお話遊びを進めていく楽しさへとつながっています。